

葛城市相撲館(同市当麻)が今月から、海外からの長期滞在者や留学生を含む外国人観光客に入館料を無料にしているが、このほど第一号となる米国人のジョシユ・スミスさん(30)が訪れ、日本の国技についての理解を深めた。

葛城市相撲館の外国人無料化

米国のスミスさん 第1号



来場のきっかけに

スミスさんはニューヨーク市出身で、現在は葛城市今在家に住み、大阪大学大学院で尺八を研究。七月にはオーストラリアで開かれた「国際尺八コンテスト」で二位に入っている。郷土方士の化粧まわしや土俵、相撲の資料などを見学したスミスさんは「無料化がきっかけで来場したが、日本文化、地域の良さが一層分かった」と話していた。

また、市内で翻訳などを手掛ける「金壽堂出版」(吉村始代表)が観光パンフレットを無料作成し、相撲館で外国人観光客らに配布している。市商工観光課は「外国人観光客が多くなれば、市の活性化につながる」と期待している。

↑ 入館記念の花束を受けるスミスさん(右)
葛城市当麻の市相撲館